

## 「北里八雲牛」とは

生乳哺乳と「放牧と自給粗飼料 100%」のみで生産された肉用牛である。

北里八雲牛には生産方式により、北里八雲有機牛、牧場産北里八雲牛、町内産北里八雲牛が存在する。

### 北里八雲有機牛・牧場産北里八雲牛・酪農家産北里八雲牛の飼養方式の違い

方式	北里八雲有機牛	牧場産北里八雲牛	町内産北里八雲牛
生産	人工授精または自然交配のみで種雄牛も有機登録牛である。ホルモン剤などの使用は禁止であり、繁殖牛も分娩6ヶ月前より有機管理を行う。	人工授精、自然交配および受精卵移植が可能でホルモン剤（アントリン・プロナルゴン等）が使用可能である。	北里八雲牛の素牛供給と受卵牛であるホルスタイン種に受精卵移植（北里八雲牛繁殖牛から受精卵を作出）からの出生である。ホルモン剤が使用可能である。
分娩	夏期は放牧地分娩で冬期は舎内分娩である。	夏期は放牧地分娩で冬期は舎内分娩である。	通年で舎内分娩である。
哺乳	出生6ヶ月まで母乳飼養である。	出生6ヶ月まで母乳飼養である。	初乳のみ母乳で、その後6ヶ月齢までホルスタイン種の生乳飼養である。
治療	休薬期間は通常の2倍で抗生剤の使用は極力避ける。	休薬期間は通常どおりで治療のための抗生剤の使用は可能である。	同左
放牧	有機草地（JAS 認可草地）のみの放牧で化学肥料ならびに農薬の使用は不可能である。	有機草地（JAS 認可草地）の放牧で化学肥料ならびに農薬の使用は不可能である。	酪農家草地は化学肥料ならびに一部除草剤を使用しているが、八雲町育成牧場では化学肥料ならびに農薬を使用していない。
舎飼	一頭当たりの飼養面積が設定されており、牛体の汚染防止に努めなくてはならない。	通常どおりで特記事項はない。	同左
冬期給与飼料	有機草地から収穫したグラスならびにロールパールサイレージを給与する。	有機草地を含む八雲牧場内の草地から収穫したグラスならびにロールパールサイレージを給与する。	酪農家草地から収穫したグラス、ロールパールならびにデントコーンサイレージを給与する。
出荷	牧場の生産行程管理の一部を外注委託した屠場のみ搬入可能で、運送も外注委託を行い牧場からの輸送方法の指示を遵守してもらえ運送業者に限られる。屠場では有機牛以外の枝肉との接触が禁止である。枝肉出荷まで牧場の管理下に置かれる。	規制は特にない。	同左
その他（有機JAS管理）	格付けおよび生産行程の管理を行い、年一回の検査を受ける。 八雲牧場自体が有機管理を行っている。	八雲牧場自体が有機 JAS 管理を行っている。	有機 JAS 管理を行っていない。